



2024年7月17日

各位

会社名 GFA株式会社
代表者名 代表取締役社長 片田 朋希
(コード：8783、スタンダード市場)
問合せ先 経営企画部 部長 谷井 篤史
<https://www.gfa.co.jp/form/corp/>

株式会社ルミライズとの戦略的業務連携に関するお知らせ

～高度な再生医療の提供によるグローバル社会への貢献を目指して～

当社は、株式会社ルミライズ（以下「ルミライズ社」といいます。）と連携し、再生医療事業・細胞培事業に関して、戦略的業務連携を推進するため、両社で協議に入ることによって2024年7月17日付で合意いたしましたので、以下のとおり、お知らせいたします。

記

1. 戦略的業務連携の目的等

当社は、不動産・金融事業を本業とし、最先端のメタバース空間の展開を含めた様々な事業開発・金融支援を行っております。複数の事業会社を子会社・関連会社として有しており、それら事業を連携させながら、メタバース・フィンテックといった最先端領域の市場創造にも尽力をしつつ、本業の不動産・金融事業の収益を最大化すべく事業推進を行っております。

現在、当社では当社及び各子会社における海外において事業パートナーの模索を図っており、特に中国及び香港における事業展開を強化し、グループ事業の再編も行いながら、様々なマーケティング戦略を模索しており、当社の収益を最大化させる最適なパートナーを当社グループのコネクションを活用して、様々な企業にアプローチしております。

ルミライズ社は、2014年に再生医療に関する法律が施行され、世間からも再生医療が大きく注目されるなか、日本大学が開発した「DFAT（※間葉系細胞の中から素晴らしい細胞群を抽出された脱分化脂肪細胞）」を使った新たな治療法を共同研究し、独自の人間向け・動物向けの治療法を開発する再生医療のベンチャー企業です。

ルミライズ社の長年の研究により、間葉系細胞のなかの細胞群を「スーパー細胞」と名付けて、新たな治療方法を確立し、その技術を応用した人間と動物の医療貢献が期待されております。

以前よりルミライズ社の菅原代表と当社代表は面識があり、今回ルミライズ社から再生医療に関する事業概要や今後の展望などを伺いながら、当社が現在、2024年5月13日付「青島磊鑫集团有限公司との戦略的業務連携の推進に関するお知らせ」の開示で、中国の青島地域において、美容医療領域の新規事業の推進などについてもお話させていただいたところ、当社を含むグループ企業や人的ネットワーク及び事業パートナー等との連携による多角的な取り組み方に関心を頂きました。

ルミライズ社からは今後の再生医療の提供機会の拡大に向けた協業を前提とした取り組みを当社と行いたい旨の意向もあり、両社で事業提携に向けて協議を進めていくこととなりました。

2. 間葉系細胞 (mesenchymal stem cells : MSC) とは

骨芽細胞・骨細胞、心筋細胞、軟骨細胞、腱細胞、脂肪細胞などの中胚葉系細胞のみならず、胚葉の異なるグリア細胞や肝細胞へも分化する能力を持つ組織幹細胞です。最も一般的治療は、閉塞性動

脈硬化症や熱傷の治療以外に、脳梗塞、脊髄損傷、心筋梗塞、肝硬変、変形性関節症など、あらゆる疾患に対して、幹細胞を用いた再生医療が人を対象にした治療法として実施されています。

胚性幹細胞（ES 細胞）のような倫理的問題はほとんどなく、人工多能性幹細胞（iPS 細胞）のように遺伝子導入する必要もありません。

このため、移植時の安全性の点でも優れており、取り扱いが容易なことから、人間と動物の医療において多くの臨床応用が認められるようになってきています。

3. 戦略的業務連携の内容

当社では 2024 年 3 月 29 日付の「北京美年国盛健康管理有限公司との業務提携に関するお知らせ」で開示しましたとおり、現在、富裕層中国訪日観光客など海外市場を主たるターゲットとして、様々なマーケティング戦略を模索しており、当社の収益を最大化させる最適なパートナーを当社グループのコネクションを活用して、様々な企業にアプローチしております。

日本大学が開発した「DFAT」は、細胞変異が無い、単一で純粋な細胞で、人工的に手を加えなくても、様々な細胞に分化変身し生着することが可能であり、その安全性から、AMED(国立研究開発法人 日本医療研究開発機構)に採択され、人間への投与も始まっております。

現在、想定している商流としては、ルミライズ社が手掛けていく動物医療の分野に関して、安全性試験や様々なテスト実施、新たな医療方法の提供のためにかかる資金供給を当社がバックアップしながら、当社はそのリソースを活用し、これまでに自社で培った美容医療経営ノウハウを注入することにより、両社で再生医療事業の推進を図っていく予定です。

また、当社とルミライズ社は協業をこれより順次図っていきませんが、ルミライズ社との協業によって、当社グループの事業アセット等を融合させることで更なる収益化を見込み、黒字化の実現性をより高くすると判断できれば、更なる業務連携を見据えた資本業務提携なども検討していく予定です。

4. 戦略的業務連携の相手先概要

(1) 名 称	株式会社ルミライズ	
(2) 所 在 地	東京都千代田区丸の内 1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー 3F	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 菅原 広隆	
(4) 事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ Super Cells（細胞）を利用した新再生医療法の開発 ・ 動物に対する新再生医療法の開発 ・ 細胞の開発・培養・管理事業 	
(5) 資 本 金	154,000,000 円	
(6) 設 立 年 月 日	2021 年 11 月 24 日	
(7) 大株主及び持株比率	合同会社トリコロール2 39.41% 菅原 広隆 21.49% 他株主 39.10%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。
(9) URL	https://lumirise.jp/	
(10) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態	相手先の意向により、非開示とさせていただきます。	

5. 今後の見通しについて

現在、ルミライズ社と本件の詳細条件などを協議していることから、両社で実施していく具体的な協業に関しては、詳細が固まり次第、速やかにお知らせいたします。

本件が当社の 2025 年 3 月期の連結業績に与える影響につきましては軽微である見込みですが、2026 年 3 月期以降については精査中であります。

以 上